

06

JUNE
2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
01	02	03	04	05	06	07
08	09	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

毎月22日は#ふうふの日



STORY_002_2025.06.22

おしゃべりなスニーカー

玄関の隅で、スニーカーたちは、少し疲れた顔をして並んでいた。二人で選んだ白いスニーカーが、くすんで汚れている。「最近お出かけしてないね」「ずっと出番を待ってる」和也はスニーカーたちからそんな声が聞こえた気がした。

一念発起して、粉のワイドハイターでつけおきしてみると、みるみる白さが蘇ってきた。

「僕も早く散歩したいよ」和也はスニーカーに微笑みかけた。

週末、和也はパートナーと洗いたての白いスニーカーを履いて出かけた。スニーカーたちは久しぶりの外出にはしゃいだ。

「角に素敵なお店ができたね」

「川原にあじさいが咲いてるね」

並んで歩くふたりの足元で、スニーカーたちは楽しくおしゃべりをはじめた。

「また一緒に歩けるなんて最高だね」

「これからもずっとこうしていたいな」

久しぶりの冒険に足取りは軽くなった。梅雨の晴れ間の町に、二足のステップは永遠に続くダンスのように弾んだ。

帰宅後、彼女は和也に微笑みかけて言った。

「ぴかぴかのスニーカーで、楽しかった。ありがとう」

「このところ忙しかったから。二人の時間を作りたくて。そして二人のスニーカーをきれいにしたくなったんだ」和也は照れた。

「僕も楽しかったよ。また並んで歩こう」

二足のスニーカーも玄関に並んで、にこにこ笑っているようだった。

花王作成センター

ASSISTED BY
WIDE HIGHTER PRO

ワイドハイター PRO 粉末

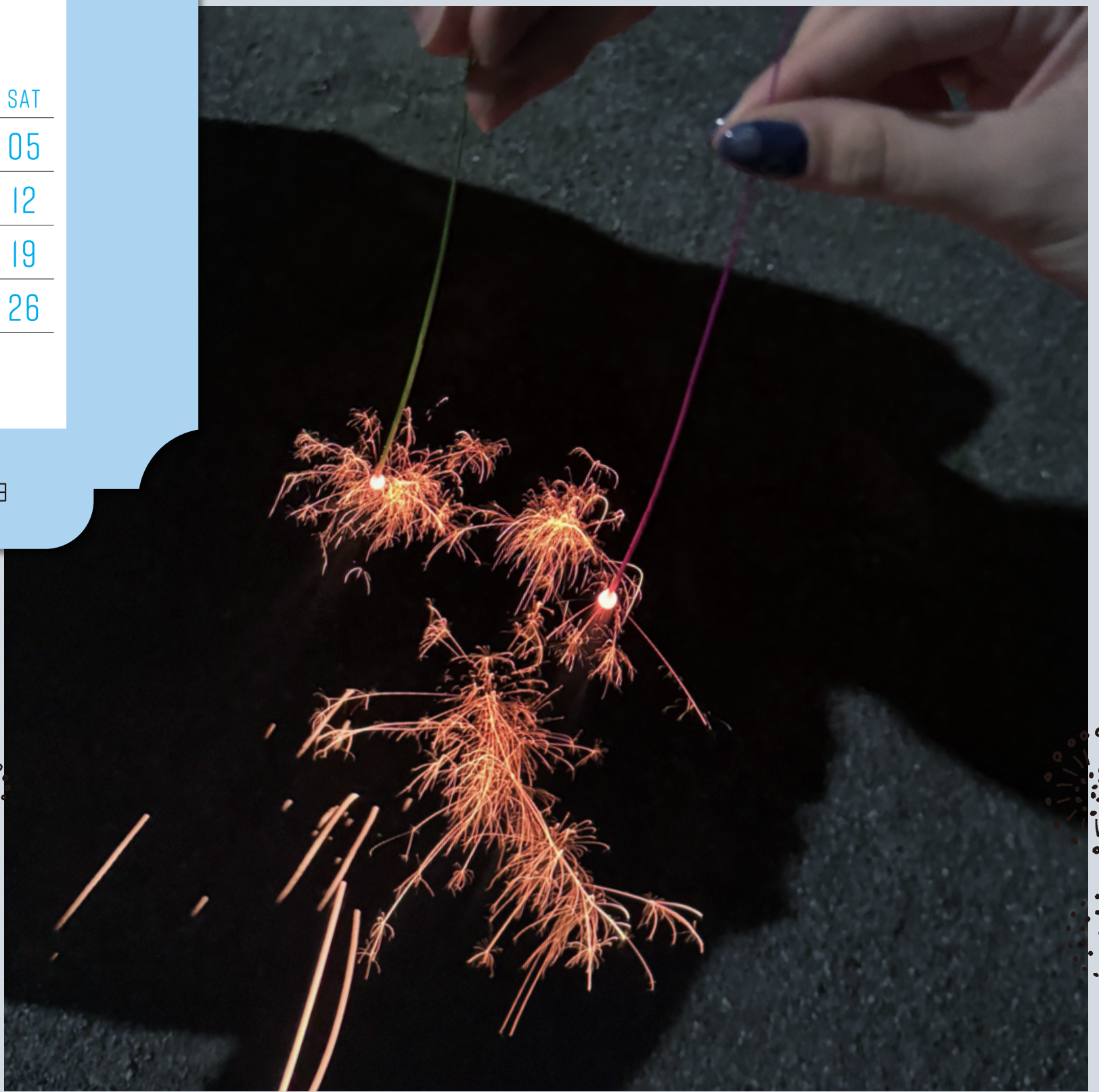
つけおき洗いで
しみこんだ汚れもスッキリ2025年
6月16日
発売ふうふのショートストーリー
My Kaoで毎月更新中

07

JULY
2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		01	02	03	04	05
06	07	08	09	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

毎月22日は#ふうふの日



STORY_004_2025.07.22

牡丹星が照らしたもの

会話のないリビングで、黙々とネイルをする妻のナツミ。紺地に白で描かれた繊細な模様は、いつかの花火のようだった。――毎年行く約束だったけど、去年は行かなかったもんな。僕は心の中で呟いた。

数日後、花火大会のチラシを持ち帰った。「今年で二人とも三十歳だし、記念に」それを見たナツミは僕に、なんか思ってるなら言って、と。「今でも花火、好きなんですよ?」そう伝えると、ナツミは少し目を伏せて、どこか噛みしめるように頷いた。

二年前の冬、ナツミの耳が聞こえなくなってから、コミュニケーションが取りづらくなり、少し距離を感じていた。だからこそ、何でもいいから前に進むきっかけが欲しかった。

七月二十四日、花火大会当日。二人の下駄が高鳴る中、僕が暑さを隠せずにいると、「私は浴衣着る前に、ビオレのシート使ったし、さらさら」と、ナツミは自慢げに首元を撫でてみせた。その時、夜空に大きな牡丹星が咲いた。

最後の花火が打ち上がると、人混みからそっと離れるように歩いた。そして河川敷の隅に腰掛け、袂から線香花火を取り出した。「去年の花火、今から」僕の拙い手話にナツミは相好を崩した。

白い牡丹が描かれた指先で、そっと目頭を拭いながら。



1枚で全身
快適をまとめて、ずーっとさらさら



ふうふのショートストーリー
My Kaoで毎月更新中

花王作成センター